

平成25年度後志総合振興局管内観光入込客数の概要

(平成26年8月4日 修正)

1 調査基本事項

(1) 調査内容

後志管内全20市町村による観光地点等における観光入込客数（延べ人数）の調査結果を集計。

(2) 調査対象期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(3) 調査項目

- ①観光入込客数 ②道外客・道内客（観光入込客数内訳）
③日帰り客・宿泊客（観光入込客数内訳） ④宿泊客延数

参 考～観光地点等とは北海道観光入込客数調査要領に基づく観光地点（観光・ビジネスの目的を問わず、非日常的な利用の多い観光活動の拠点となる地点）及び行祭事・イベントをいう。

2 調査結果概要

(1) 観光入込客数の状況

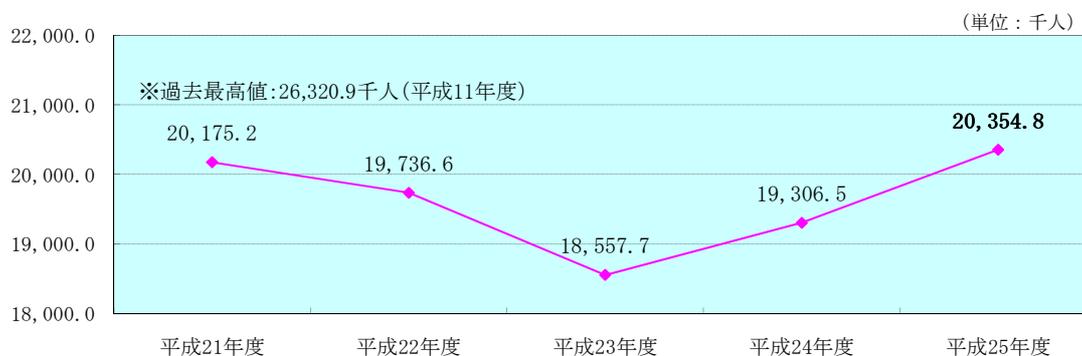
平成25年度における後志総合振興局管内の観光入込客数は、2,035万4,800人と、前年度と比較し5.4%（約105万人）増加した。

管内の状況として、観光需要の回復や格安航空会社の利用が好調であることなどにより、多くの観光施設において、道内、道外客のいずれも入込客数が増加した。

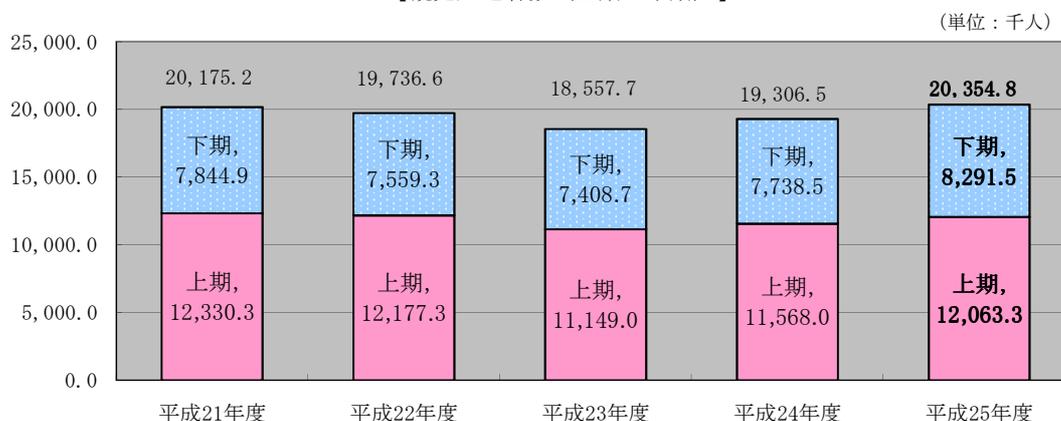
また、円安傾向やビザ発給要件緩和などにより、外国人観光客が昨年に引き続き、大幅に増加した。

(2) 観光入込客数の5年間の推移

【観光入込客数】



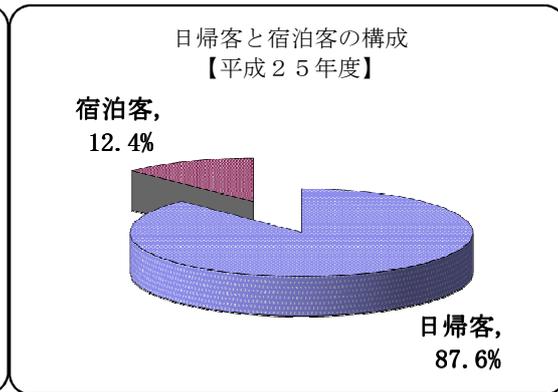
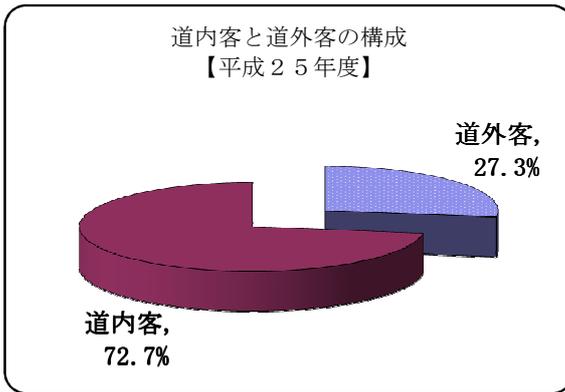
【観光入込客数（上期・下期）】



(3) 道外客・道内客数構成比率、宿泊客・日帰客数構成比率、宿泊客延数、平均宿泊日数

(単位：千人)

	観光入込客数	内訳		内訳		宿泊客延数	平均宿泊日数
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客		
H25年度	20,354.8	5,552.1	14,802.7	17,832.6	2,522.2	3,221.0	1.28泊
H24年度	19,306.5	5,170.3	14,136.2	16,932.5	2,374.0	3,039.1	1.28泊
対前年比	105.4%	107.4%	104.7%	105.3%	106.2%	106.0%	99.8%
構成比(H25)	100.0%	27.3%	72.7%	87.6%	12.4%		
構成比(H24)	100.0%	26.8%	73.2%	87.7%	12.3%		



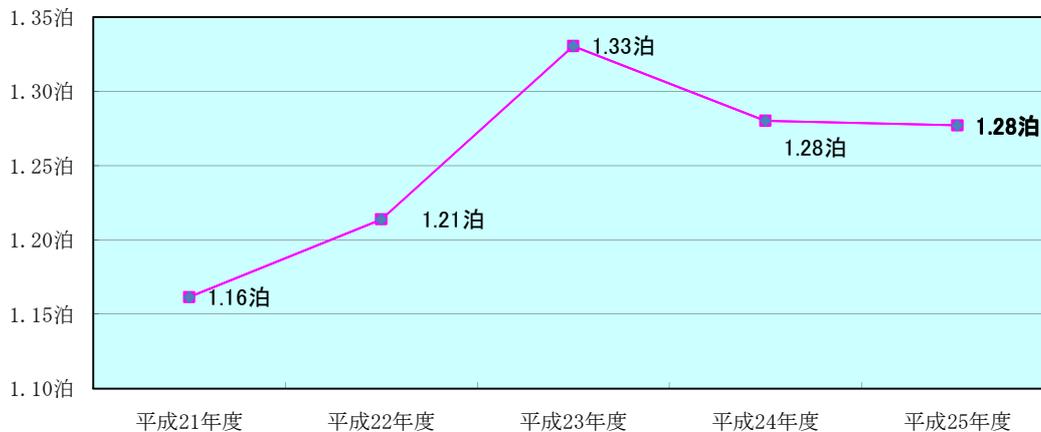
・道内客と道外客の構成は、道内客が1,480万2,700人(72.7%)、道外客が555万2,100人(27.3%)と7割以上が道内客となっている。

・日帰客と宿泊客の構成は、日帰客が1,783万2,600人(87.6%)、宿泊客が252万2,200人(12.4%)と約9割が日帰り客となっている。

(単位：千人)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
宿泊客数	2,398.8	2,241.7	2,288.9	2,374.0	2,522.2
宿泊客延べ数	2,786.3	2,721.1	3,045.3	3,039.1	3,221.0
平均宿泊日数	1.16泊	1.21泊	1.33泊	1.28泊	1.28泊

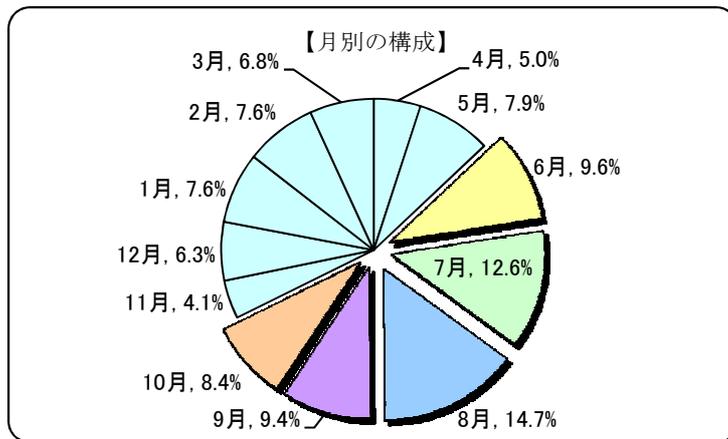
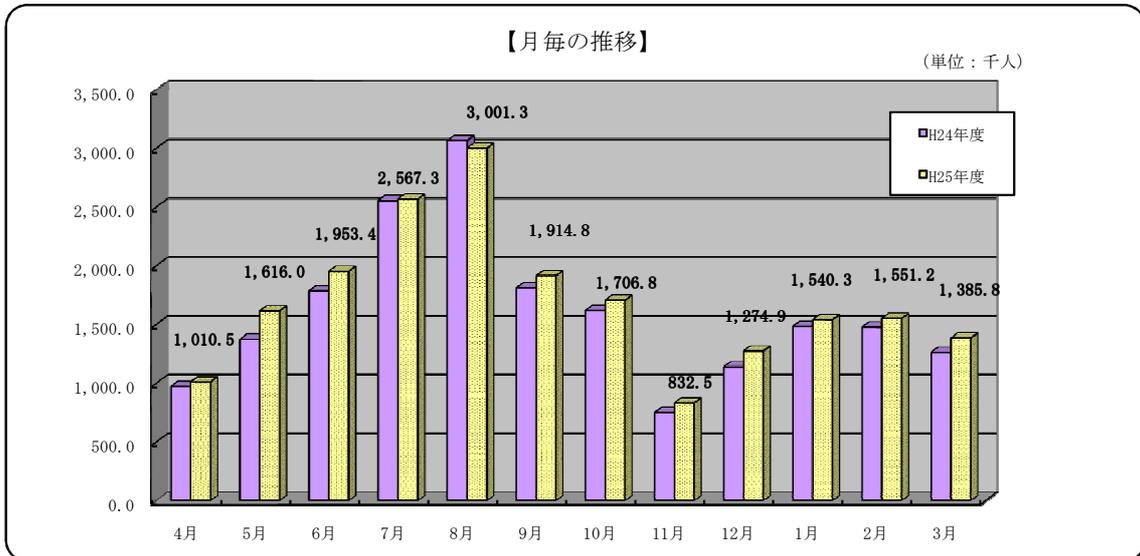
【過去5年間の平均宿泊日数の推移】



(4) 月毎の推移と構成

(単位：千人)

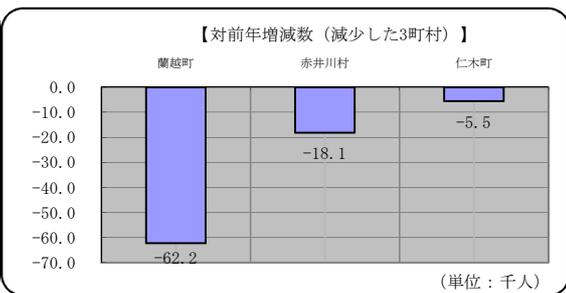
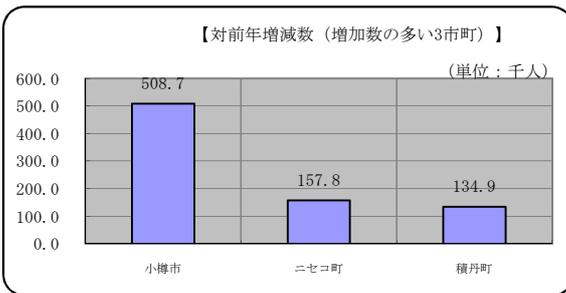
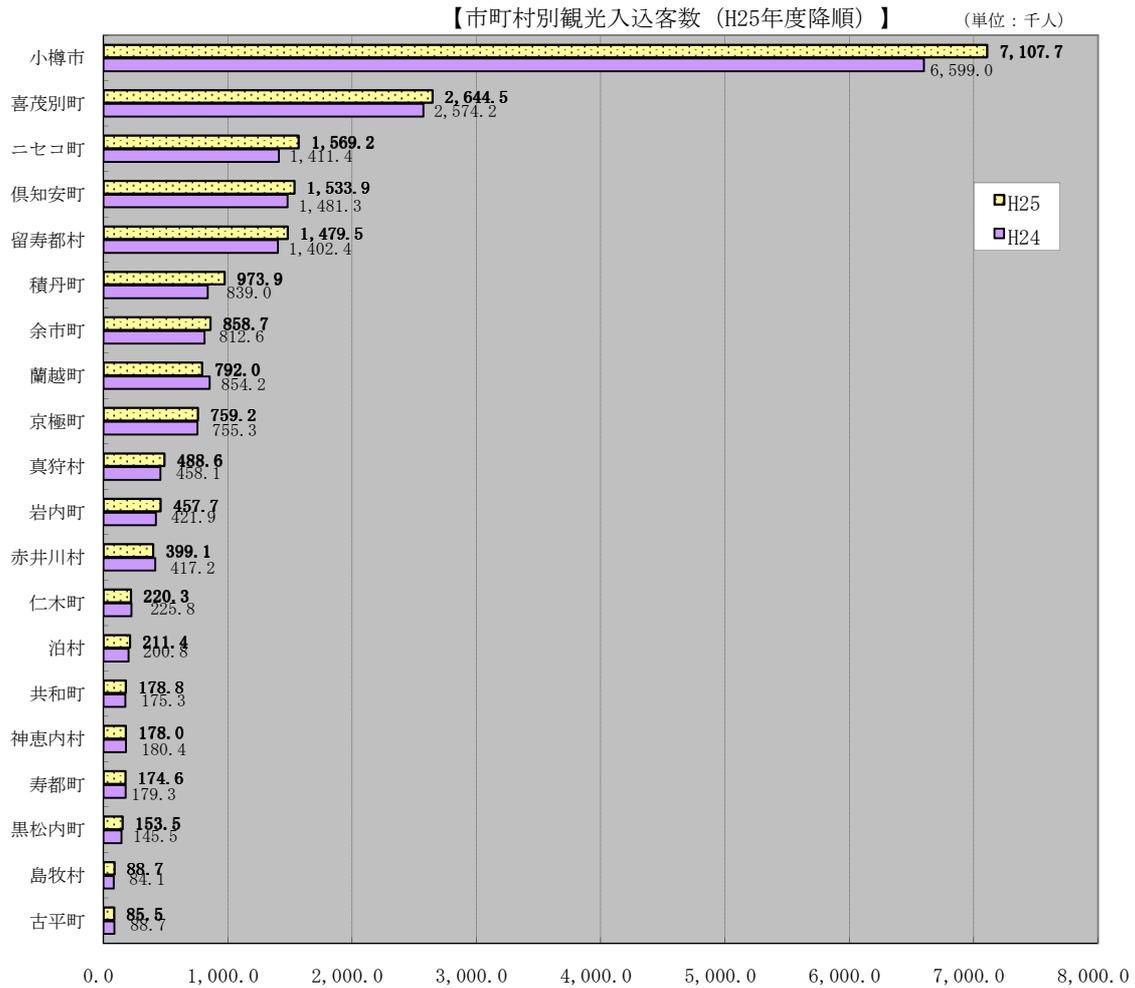
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H25年度	1,010.5	1,616.0	1,953.4	2,567.3	3,001.3	1,914.8	1,706.8	832.5	1,274.9	1,540.3	1,551.2	1,385.8	20,354.8
H24年度	972.8	1,374.9	1,786.5	2,555.4	3,065.0	1,813.4	1,620.8	752.0	1,140.0	1,484.4	1,478.0	1,263.3	19,306.5
対前年比	103.9%	117.5%	109.3%	100.5%	97.9%	105.6%	105.3%	110.7%	111.8%	103.8%	105.0%	109.7%	105.4%



- ・月別の構成では、8月が300万1,300人と最も多く、全体の14.7%を占めている。
- ・次いで7月が256万7,300人、12.6%と続き、以下6月、9月の順となっており、上期（4～9月）で全体の59.3%を占める。
- ・上期（4月～9月）の前年同月比較では、週末の悪天候が影響した8月を除く全ての月で増加。
- ・下期（10月～3月）の前年同月比較では、昨年に引き続きスキーリゾート施設を中心とした外国人観光客の好調な入込などにより、全ての月で増加。

(5) 市町村別（入込客数、増加数グラフ）

○入込客数



小樽市： 旅行需要の回復などによる国内客の増加、円安傾向やビザ発給要件緩和による海外客の増加に加え、新たな冬季イベント開催や札幌市での積極的PRによる道内客の増加。

ニセコ町： 春先の天候不順により上期は微増に留まったが、冬期間はスキー客を中心に過去最高水準となる大幅な増加。

積丹町： 神威岬の開通（平成25年4月）により、個人客、団体客ともに増加。

蘭越町： 上期は観光施設への入込が好調であったが、チセスプリスキー場の休止による冬期間の入込減が影響し、年間では減少。

赤井川村： リゾート施設の集客方針変更により、上期の入込が減少、下期ではタイからの入込などにより回復したものの結果的には減少。

仁木町： 春から夏までの天候不順による入込減が影響し、年間ではわずかに減少。